

第4章 集落排水事業

(1) 業務概況

区分		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
排水戸数		戸	1,768	1,777	1,741	1,768	1,740
行政区域内人口		人	211,359	208,096	203,549	199,481	195,811
全体計画人口		人	11,220	11,220	11,220	11,220	11,220
処理区域内人口		人	3,762	3,672	3,610	3,486	3,370
水洗便所設置済人口		人	2,835	2,801	2,713	2,663	2,595
行政区域面積		ha	35,283	35,283	35,283	35,204	35,204
全体計画面積		ha	162.3	162.3	162.3	162.3	162.3
処理区域面積		ha	128.1	128.1	133.3	133.3	135.6
普及率	人口普及率	%	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7
	水洗化率	%	75.4	76.3	75.2	76.4	77.0
	整備計画面積率	%	78.9	78.9	82.1	82.1	83.5
下水道管渠総延長		m	79,447	79,893	80,726	81,119	81,475
終末処理場数		か所	11	11	11	11	11
処理場処理能力		m ³ /日	2,864	2,864	2,864	2,864	2,864
年間総処理水量		m ³	252,886	240,390	241,806	238,701	220,594
	汚水処理水量	m ³	252,886	240,390	241,806	238,701	220,594
1日平均処理水量		m ³	693	659	661	654	604
晴天時1日平均処理水量		m ³	693	659	661	654	604
年間有収水量		m ³	242,335	234,008	230,189	223,333	213,685
有収率		%	95.8	97.3	95.2	93.6	96.9

(2) 業務分析

分析項目	単位	比較					公式	備考
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
負荷率	%	71.6	65.3	62.8	60.4	65.9	$\frac{\text{晴天時1日平均処理水量}}{\text{晴天時1日最大処理水量}} \times 100$	施設が年間を通じて有効に使用されているかをみる。 比率は、100%に近いほど良い。
施設利用率	%	24.2	23.0	23.1	22.8	21.1	$\frac{\text{晴天時1日平均処理水量}}{\text{晴天時1日処理能力}} \times 100$	施設の利用が有効かつ適切に行われているかをみる。 比率は、100%に近いほど良い。
最大稼働率	%	33.8	35.2	36.8	37.8	32.0	$\frac{\text{晴天時1日最大処理水量}}{\text{晴天時1日処理能力}} \times 100$	施設の利用及び投資の適正化をみる。
管渠使用効率	m ³ /m	3.2	3.0	3.0	2.9	2.7	$\frac{\text{年間総処理水量}}{\text{管渠延長}}$	管渠1m当たりの有効利用をみる。 数値は、大きいほど良い。

(3) 整備状況

ア 農業集落排水事業

(7) 供用開始地区：下蒲刈町下島地区，下蒲刈町三之瀬地区，安浦町野路西地区，豊浜町大浜地区，豊浜町立花地区，豊町沖友地区，豊町久比地区，蒲刈町向地区

地区名	事業期間	計画人口	事業費	供用開始
下島	平成 3 年度～平成 11 年度	1,530 人	1,588,280 千円	平成 11 年 11 月
三之瀬	平成 6 年度～平成 14 年度	2,490 人	1,152,245 千円	平成 14 年 4 月
野路西	平成 9 年度～平成 13 年度	360 人	650,000 千円	平成 14 年 2 月
大浜	平成 8 年度～平成 13 年度	400 人	620,810 千円	平成 13 年 7 月
立花	平成 6 年度～平成 8 年度	130 人	255,980 千円	平成 9 年 1 月
沖友	平成 11 年度～平成 15 年度	360 人	600,000 千円	平成 15 年 10 月
久比	平成 16 年度～平成 22 年度	820 人	1,389,315 千円	平成 21 年 7 月
向	平成 16 年度～平成 22 年度	1,230 人	1,142,092 千円	平成 22 年 4 月
計	—	7,320 人	7,398,722 千円	—

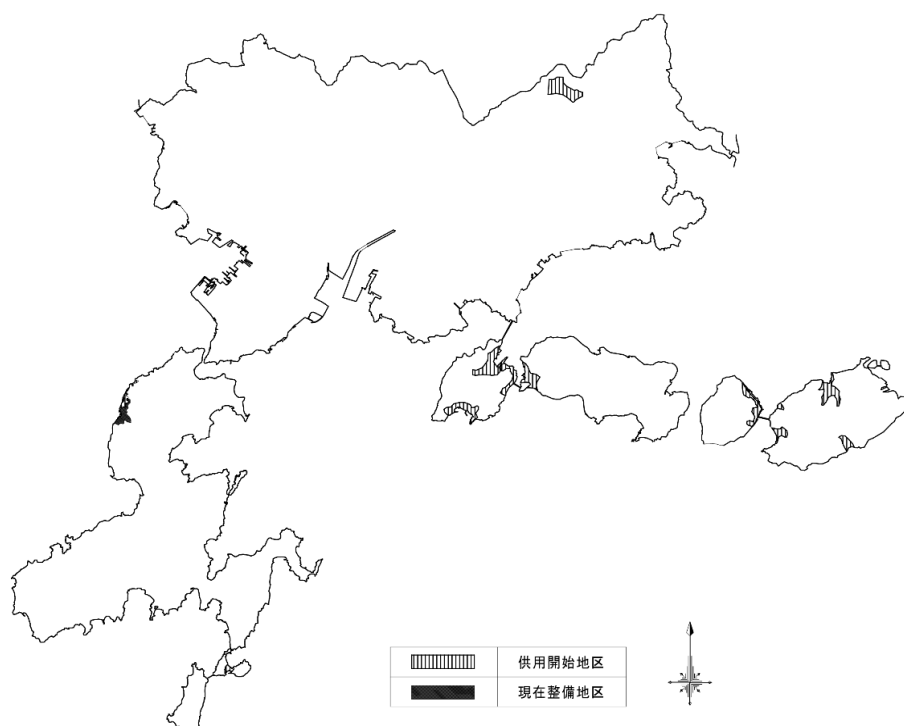
イ 漁業集落排水事業

(7) 供用開始地区：下蒲刈町大地蔵地区，倉橋町鹿老渡地区，豊浜町豊島地区

(イ) 現在整備地区：音戸町田原地区

地区名	事業期間	計画人口	事業費	供用開始
大地蔵	平成 4 年度～平成 14 年度	1,080 人	981,998 千円	平成 14 年 4 月
鹿老渡	平成 6 年度～平成 11 年度	260 人	620,000 千円	平成 12 年 4 月
豊島	平成 15 年度～平成 26 年度	1,790 人	1,774,602 千円	平成 25 年 5 月
田原	平成 18 年度～令和 11 年度 (平成22～27年度は、事業休止)	770 人	1,368,753 千円	令和5年11月(一部)
計	—	3,900 人	4,745,353 千円	—

ウ 整備状況図(令和8年3月31日現在)



(4) 処理施設の状況

ア 農業集落排水事業

(令和8年3月31日現在)

地区名	処理区域			加入戸数(戸)	接続戸数(戸)	接続率(%)
	面積(ha)	戸数(戸)	人口(人)			
下島	14.7	290	460	340	246	84.8
三之瀬	6.3	197	289	268	187	94.9
野路西	3.5	63	101	87	63	100.0
大浜	4.9	87	118	131	87	100.0
立花	2.6	33	41	52	33	100.0
沖友	5.1	83	122	107	78	94.0
久比	17.0	201	308	188	174	86.6
向	15.9	308	517	253	248	80.5
計	70.0	1,262	1,956	1,426	1,116	88.4

(注)加入戸数は、旧町の制度において分担金を納付済の戸数であり、空き家を含む。

イ 漁業集落排水事業

(令和8年3月31日現在)

地区名	処理区域			加入戸数(戸)	接続戸数(戸)	接続率(%)
	面積(ha)	戸数(戸)	人口(人)			
大地蔵	16.0	191	318	194	121	63.4
鹿老渡	5.5	81	131	118	66	81.5
豊島	36.6	584	798	440	406	69.5
田原	7.5	110	167	17	15	13.6
計	65.6	966	1,414	769	608	62.9

(注)加入戸数は、旧町の制度において分担金を納付済の戸数であり、空き家を含む。

(5) 処理場

ア 農業集落排水処理施設

地区名	所在地	型式	計画戸数(戸)	人槽	処理能力	延べ面積(m ²)
下島	下蒲刈町下島字町新開1717番地	回分式	433	1,530	414m ³ /日	516.49
三之瀬	下蒲刈町下島字住吉谷3079番地	回分式	367	2,490	673m ³ /日	428.14
野路西	安浦町大字下垣内字オ之原379番地	接触ばっき	90	360	97m ³ /日	91.68
大浜	豊浜町大字大浜字水尻1159番地の2	接触ばっき	147	400	108m ³ /日	126.65
立花	豊浜町大字大浜字南立花305番地の4	接触ばっき	53	130	35m ³ /日	35.12
沖友	豊町沖友字管足360番地の6	接触ばっき	143	360	97m ³ /日	134.01
久比	豊町久比字新開2437番地の12	間欠ばっき	377	820	222m ³ /日	397.86
向	蒲刈町向字西脇987番地の5	間欠ばっき	442	1,230	333m ³ /日	350.91
計	—	—	2,052	7,320	1,979m ³ /日	2,080.86

イ 漁業集落排水処理施設

地区名	所在地	型式	計画戸数(戸)	人槽	処理能力	延べ面積(m ²)
大地蔵	下蒲刈町下島字田之尻3562番地1	回分式	229	1,080	292m ³ /日	281.44
鹿老渡	倉橋町字住吉山16542番地の6	接触ばっき	130	260	110m ³ /日	257.19
豊島	豊浜町大字豊島字外ノ浦2004番地の5	間欠ばっき	864	1,790	483m ³ /日	372.47
計	—	—	1,223	3,130	885m ³ /日	911.10

ウ 中水施設

中水とは、汚水処理施設において2次処理した処理水の一部を更に高度処理（オゾン処理等、3次処理とならない。）したもので、営農用等の用水として再利用しています。

地区名	貯水槽(t)	使用開始	利用方法
下島	200	平成11年11月	取水口(施設手前及び農道)まで直接用水を取りに行つて利用
三之瀬	42	平成14年4月	施設まで直接用水を取りに行つて利用
大浜	34	平成13年7月	施設まで直接用水を取りに行つて利用
立花	22	平成9年1月	施設まで直接用水を取りに行つて利用
大地蔵	20	平成16年3月	施設まで直接用水を取りに行つて利用
向	33	平成22年4月	施設まで直接用水を取りに行つて利用
計	351	—	—

(6) 集落排水処理施設使用料

使用料における排除汚水量による算定方法及び井戸水使用者の認定方法の内容は、いずれも下水道使用料と同じである。

(7) 集落排水事業受益者分担金

建物ごとに最終ます1個につき16万円で、排水設備の新設の確認時に分担金として納付してもらう。ただし、確認申請の日が、供用を開始した日から3年を経過しない日である場合には、当該分担金の額を減額し、6万円としている。

(8) 水洗便所等改造資金利子補給制度

平成24年4月1日に下水道事業と同様の制度を創設した。制度の内容、利子補給を受ける資格、融資限度等は、下水道事業の場合に準じている。

(9) 財政状況(セグメント情報)

下水道事業会計では公共下水道事業及び集落排水事業を運営しており、このうち集落排水事業の財政状況を示すセグメント情報は次のとおりとなっている。

(単位:千円)

項目	令和6年度	令和7年度
営業収益	50,644	49,013
営業費用	404,038	399,023
営業損益	△ 353,394	△ 350,010
経常損益	0	0
セグメント資産	7,052,855	6,925,868
セグメント負債	6,113,432	5,954,468
その他の項目		
一般会計繰入金	329,101	310,380
減価償却費	207,383	207,515
特別利益	22,239	0
特別損失	22,239	0
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	157,669	87,812